

# 日語

## 中級寫作教程

主編 于日平

 高等教育出版社  
HIGHER EDUCATION PRESS

文章力は、「言語運用力・知識力」のほかに「思考力」を必要とする総合的な力である。現在、中日両国の交流は経済貿易をはじめ、社会生活や文化往来、教育や観光など多方面に渡っており、公的にも私的にも盛んに行われている。仕事や交流において日本語作文に対する実用的で技能的な要求がますます高まり、「言語力・知識力・思考力」を背景とした文章力が強く求められる。

しかし、作文教育は、外国語教育の中で常に弱い課目であり、文章力の重要性が分かっていながら、明確な授業計画や効果的な教授法を持ち合わせていないのが現状であろう。これは、中国の学生にとって、日本語による文章力の育成は決して単なる文章形式の習得にとどまるものではなく、高レベルの言語運用能力と豊かな知識力及び論理的に言葉運用をする思考力、それらを統一した形で行う作文授業が要求されているからであろう。言い換えれば、必要に応じて異なる文章で使用する言葉や表現を選択し、文章形式と構造を選択使用できる文章構築力を育てると同時に、さらには言語力と知識力を創動的に駆使する高度の思考力が求められているのである。

FMU-ZHONGJI XIEZUO JIAOCHENG

# 日语 中级写作教程

主编 于日平

编者 应杰 戴秋娟 谭峥

审阅 高木立子

 高等教育出版社·北京  
HIGHER EDUCATION PRESS BEIJING



### 图书在版编目(CIP)数据

日语中级写作教程 / 于日平主编. -- 北京: 高等教育出版社, 2013.3

ISBN 978-7-04-036455-2

I. ①日… II. ①于… III. ①日语-写作-教材  
IV. ①H365

中国版本图书馆CIP数据核字(2013)第027176号

策划编辑 李 炎      责任编辑 李 炎      封面设计 王凌波      版式设计 刘 艳  
责任校对 李 炎      责任印制 张泽业

---

|      |                   |      |   |
|------|-------------------|------|---|
| 出版发行 | 高等教育出版社           | 咨询电话 | 400-810-0598  |
| 社 址  | 北京市西城区德外大街4号      | 网 址  | <a href="http://www.hep.edu.cn">http://www.hep.edu.cn</a>           |
| 邮政编码 | 100120            |      | <a href="http://www.hep.com.cn">http://www.hep.com.cn</a>           |
| 印 刷  | 北京市大天乐投资管理有限公司    | 网上订购 | <a href="http://www.landrace.com">http://www.landrace.com</a>       |
| 开 本  | 850mm×1168mm 1/16 |      | <a href="http://www.landrace.com.cn">http://www.landrace.com.cn</a> |
| 总印张  | 18.5              | 版 次  | 2013年3月第1版  |
| 总字数  | 339千字             | 印 次  | 2013年3月第1次印刷  |
| 购书热线 | 010-58581118      | 总定价  | 45.00元(含教学指导)   |

---

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请到所购图书销售部门联系调换  
版权所有 侵权必究  
物料号 36455-00

# 前書き

外国語教育において「読む、聞く、話す、書く、訳す」という5技能を身に付けさせるのが目標として掲げられている。「読む、聞く、話す、書く」は言語活動のすべてを意味し、「訳す」は母国語との置き換えができる能力を指している。文章を書く作文授業は、精読授業にある「書く練習」を基礎としながらも、基礎段階の教育を終えた学生が受けるものとして位置づけられており、ある程度の語学力と知識力を身につけた上で、作文を通じて語学力の一層のレベルアップ、とりわけ文章力を育成するものである。言い換えれば、読む（読解の授業）、聞く（ヒヤリングの授業）、閲読（日本事情の授業）の教育によって身に付けられた言語運用能力と関連知識を基礎にして初めて作文授業が効果的に行われ得るのである。これは、言語運用における読解力、聴解力、会話力、文章力が有機的に結びついているものであることを証明すると同時に、作文授業の教育目標を示しているものでもあると理解される。つまり、作文教育の目的は、使用目的が明確で、意味的にも構造的にもまとまりのある文章を書くことを通じて、理論的に理解した言語知識を生きた言語環境や言語文脈におかれての正しい言語運用能力に変えて、日常生活や仕事における文章活動に役立てようということである。効果的な作文授業は、まさに作文練習を通じて言語運用能力と文章形式習得の高レベルの統一を図らなければならない。

外国語で文章を書くにあたり、二つの能力を備える必要があるとされている。一つは、外国語を使って自分の言いたいことを正しく表現できる言語表現能力であり、もう一つは、必要に応じて各種の文章形式を使いこなす、正しく文章を作り出す文章構築能力である。外国語で文章を書く目的は、ある目的を達成するためにある。そして、意を正しく伝え、目的が達成できる文章がかかるのが前提である。それは言うまでもなく、言語運用能力と文章構築能力が結びついた形で実現されることであろう。その意味で、日本語の作文授業は、言語表現力の向上と文章形式の習得の両方に力を入れてやらなければならない。そして、文章を書くという練習を通じて、記憶し蓄積しておいた分散的な言語知識を、自由に自分の考えを表し、言いたいことを正しく相手に伝えられるような統一した言語表現能力に変えていくと同時に、日常生活や仕事によく使われる特定の文章の書き方も心得て、目的に応じた各種の文章が書けるように務めるべきである。

上記の理念に基づき、本教科書においては、言語運用能力と文章形式習得を統一させるべく、初級と中級の各課に言語表現整理と作文実践という二つのセクションが設けられている。言語表現整理の部分では、大学の日本語教育ガイドラインに定められている基礎段階の語学勉強内容を機能別に分けて整理し、そして、段落（意味の一まとまりをなす文章単位）構成を中心に、言葉用法の模倣や段落の再構築などの練習を通じて、表現力の向上を図ることにしている。作文実践の部分では、実用性を中心に、日常生活によく使われる私的用のものから社会生活や仕事によく使われる交際用・事務用のような公的用のものまで、典型的なものを分類基準にして各種の文章が設定され、整理復習した表現との結びつきを考慮に入れながら作文実践を行うようにしている。

文章を書くにあたり、文体の選択をしなければならない。中国の大学で行われる日本語教育

は、「です・ます体」から始まることが多く、「外」に向かったコミュニケーション能力を育成するのが最初の目的であるのだから、正しい選択だと思う。作文授業のあり方を分析すると、一般的にまず、「特定の相手や組織」を対象とするメールや手紙、通知や案内などビジネス的な文章の練習があり、続いて「特定の相手がいる場合といない場合の両方がある」感想文や意見文、自己紹介やスピーチなど実用的な文章が設定され、最後に新聞記事や報告書、論文など「不特定の読者を対象とする」文章を習うことになっている。文体的に考えれば、言葉使いや文型使用などにおいては、日常会話に一番近い「書き言葉」文章→一般的な文章→学術的な文章という変化の推移が認められ、文末形態においては、「です・ます体」→「だ体」→「である体」という習得順序が認められるのである。したがって、本教科書の初級では、「外」との交流を目的とする正式の口語体文章（日常会話に一番近い「書き言葉」文章）の習得を主目的としながら、「特定の相手や組織を意識しない」「だ」体文章との関連性を考慮に入れて一緒に勉強することになっている。つまり、口語体文章の作成を中心に、表現としては、それにふさわしい言葉遣いや文型表現の選択を行い、文体形態としては、「です・ます」体を中心としながら「だ」体文章との関連性や移行を考慮するのである。中級では、学術的な文章によく用いられる「である」体をも入れて、「です・ます」体→「だ」体→「である」体への文体関連性や言葉遣い、表現や文型の選択を考慮しながら、練習を進めていくことにしている。

このように、好い文章を書くには、表現力と文章力の両方が必要で、作文授業は、その表現力の向上と文章力の育成を有機的に結びつけて行うべきであると考えている。このような教育目的を達成するために、本教科書は、次のように内容構成が組み立てられ、教授法と練習方法が考案されている。

本教科書は、中国教育部の普通高等教育“第10回5ヵ年計画”の国家級企画教材である『日語写作教程』を改訂したもので、『日語初級写作教程』『日語中級写作教程』『日語初級写作教程論文編』という三冊からなっている。本教科書の内容構成と使われ方について簡単に説明する。

『日語初級写作教程』は本文部分と教学指導用部分との二冊からなっておる。本文は導入部分6課と本文6課の12課から構成されており、教学用指導要書は各課に対する教育案内が書かれ、練習の参考答案がついている。さらに、初級には、第7課～第12課の総合練習と学生作文によく見られる間違いの分類と分析が行われている。練習をした後、参考答案と間違い分析を見て理解の確認をしてもらい、また、総合練習で初級の教育目標の実現を確実にしておこうと考えている。

本文導入部分では、文章を書くにあたり、基礎段階ですでに身に付けておいたと思われる作文に必要な言葉知識や書き言葉の特徴、日本語表現の特徴や注意すべきところなどを重点的に取り上げて紹介し、個別練習と総合練習を行う。本文では、各課にはさらに二つの部分が設けられてあり、1) 言語表現整理部分では、基礎段階で勉強した日本語表現を機能別に分類して整理し、それらを作文との緊密度に応じて各課に振り分けて使用に必要な程度の使い分けを説明し、特に中国の日本語学習者が間違いを犯しやすい所や注意してほしい所などを重点的に取り上げて練習を行う；2) 初級の作文実践部分では、各課に伝言、メール、手紙、通知、使用説明書という日常生活や仕事によく使われる文章タイプの一つを取り上げて、その役割や形式、構成などを勉強し、文章目的や条件などを明確にした上で、実践をする。

先に外国語で文章を書くに当たり、外国語を自由にかつ正しく運用するという言語力と、必要に応じて目的が達成できるような文章を組み立てるといった構築力が必要だと述べた。言語力の育

成は各種の練習を積み重ねた結果になるもので、段階を踏んだ効果的な練習が不可欠になる。そして、文章構築力は結局のところ、目的を達成するために言語をいかに効果的に運用するかということになると思う。したがって、練習はまず、言葉表現の練習を行い、それから文章実践という形で言葉表現と文章構築を結びつけることにしている。言葉表現の練習部分では、段落構成を中心に、文から文章へと段階的に練習を積み重ねていく方法を取る。それは、意味的にも構造的にも一まとまりをなす段落こそ、分散した言葉知識を有機的に統一させて、生きた表現力に変えていくことができ、最終的には各種の文章を書き上げる文章力に育て上げることができるからである。具体的には、文完成や段落模倣、文内容の自由組み換えや順序の並べ直し、表現の間違い訂正や母国語干渉の克服などの練習を通じて表現力を高めることにしている。文章実践の部分では、実用に役立つ文章作成能力を身に付けさせることを目的とし、表現力と文章力を結び付けさせた作文実践を行うことにしている。

『日語中級写作教程』では、第1課は日本語文章の文体特徴——「です・ます体」→「だ体」→「である体」の関連性と使い分け——を説明練習するものであるが、本文は8課から構成されており、各課の構成は基本的に初級の本文と同じである。つまり、基礎段階で学んだ日本語表現を整理し練習させると同時に、意見文、感想文、説明文、注意書き、宣伝広告文、比較文、挨拶文、小論文などの文章タイプと結び付けて作文実践をし、語学力と文章力の向上に努めるようにしている。そして、最後の『日語写作教程 論文編』では、初級と中級で受けた作文の基礎訓練を踏まえた上で、レポートや卒業論文の作成を内容とし、資料集めから引用の仕方や論文の構成などを勉強させる予定である。

文章力は、「言語運用力・知識力」のほかに「思考力」を必要とする総合的な力である。現在、中日両国の交流は経済貿易をはじめ、社会生活や文化往来、教育や観光など多方面に渡っており、公的にも私的にも盛んに行われている。仕事や交流において日本語作文に対する実用的で技能的な要求がますます高まり、「言語力・知識力・思考力」を背景とした文章力が強く求められている。しかし、作文教育は、外国語教育の中で常に弱い課目であり、文章力の重要性が分かっているが、明確な授業計画や効果的な教授法を持ち合わせていないのが現状であろう。これは、中国の学生にとって、日本語による文章力の育成は決して単なる文章形式の習得にとどまるものではなく、高レベルの言語運用能力と豊かな知識力及び論理的に言葉運用をする思考力、それらを統一した形で行う作文授業が要求されているからであろう。言い換えれば、必要に応じて異なる文章で使用される言葉や表現を選択し、文章形式と構造を選択使用できる文章構築力を育てると同時に、さらには言語力と知識力を独創的に駆使する高度の思考力が求められているのである。本教科書では、まず、言語表現能力の向上と文章形式の習得の統一に重点を置き、段落再構成を特徴とする運用練習を通じて学生の日本語力を高めると同時に、特定の文章作成という実践を通じて「語学力・知識力・思考力」を統一した総合的な文章力を身に付けさせ、よりよく日常生活や仕事の必要に答えられるように務めている。

文章力育成を、表現の習得や文章構成の勉強だけにとどめることなく、内容的には「思考力の訓練」と結び付けてやることは、新しい視点から出来事や出来事間の関係に対する認識、さらには出来事と出来事をいかに関係付けるかという研究力と創造性を支えるものでもあると認識している。外国語による文章訓練を通じて、出来事や出来事の関係に対して、母国語と異なる捉えかたや表現の仕方、また関係付け方や認識の仕方を勉強すると同時に、すこしでも新しい視点や角

## 前書き

度からの把握の仕方や関係付け方を身につけて思考を豊かにすることができたら外国語勉強のもう一つの意義があると切に願っている。

本教科書の内容構成と練習方法は、長年日本語教育に従事してきた著者が経験と研究に基づき、中国の学生の欠点を補い、作文力の向上を図るために考案したものである。使用者は、大学で日本語の基礎段階の教育を終えた学部3年生、短期大学の卒業生、または4～5年の日本語学習経験者を対象とし、学習年限は、初級編・中級編・論文編はそれぞれ1学期で、合わせて1.5学年とする。そして、教科書は、初級編で使われている例文やモデル文章は、日常生活と仕事に近い文章と限定されているため、会話的な文章が多く使われているが、中級編では、文章に相応しい言葉遣いや表現を多く取り入れて、読物としての文章や小論文をモデル文章にしている、というふうに文章に表れる言語表現の移行を図りながら授業を進められるように作られている。本教科書の勉強を通じて、学生が日常生活と仕事に必要なすべての文章が正しく書けるようにするのが目的である。

本教科書の編集方針及び構成と各課の内容の振り分け、さらに練習方法の確定は、于日平が担当している。初級編では、于日平は第1、2、3、4、5、6、7、8課を書き、黄文明は第9、11、12課を書き、何蔚紅は第10課を書いた。中級編では、于日平は第1、3、6、8、9課を書き、応傑は第4、7課を書き、戴秋娟は第5課を書き、譚崢は第2課を書いた。最後に、于日平は2冊の原稿内容の調整・統一・修正を行い、総合練習を加え高木立子先生に各課に対するコメントや全教科書に対するチェックをしていただいた。上海外国語大学の譚晶華先生に本教科書を閲読していただき、貴重なご意見をいただいた。

編集責任者 于日平  
2012.10.20

# 目 录

## 第 1 课

|         |   |
|---------|---|
| 文体和书面语  | 1 |
| 文体と書き言葉 |   |

## 第 2 课

|              |    |
|--------------|----|
| 自我介绍和致词的写作方法 | 19 |
| 自己紹介と挨拶文     |    |

## 第 3 课

|             |    |
|-------------|----|
| 宣传·广告文的写作方法 | 41 |
| 宣伝・広報文      |    |

## 第 4 课

|          |    |
|----------|----|
| 说明文的写作方法 | 59 |
| 説明文      |    |

## 第 5 课

|             |    |
|-------------|----|
| 意见·感想文的写作方法 | 77 |
| 意見・感想文      |    |

|        |    |
|--------|----|
| 综合练习 1 | 95 |
|--------|----|



## 第 6 课

- 注意事项的写作方法 ----- 111  
注意書き・使用说明

## 第 7 课

- 规章制度的写作方法 ----- 131  
規則条例文

## 第 8 课

- 比较·对比文的写作方法 ----- 147  
比較・对比文

## 第 9 课

- 议论文的写作方法 ----- 169  
小論文

- 综合练习 2 ----- 193

# 第 1 课

## 文体和书面语

### 文体と書き言葉

文体（文体・スタイル＝style）一般有两个意义，一个是指某人文章中体现出的措辞、造句、表达方式、段落或者文章的结构等特点，比如，夏目漱石的文体、《雪国》一文中体现出的川端康成的文体等。另一个是指不同用途、类型文章体现出的措辞、造句、表达方式、段落或者文章的结构等特点，比如，信件中的语言使用特点、调查报告或者论文的语言使用特点以及文章结构，等等。在这里，主要学习和掌握不同用途、类型文章中的语言使用特点。

文章根据不同用途和内容分成很多类别，而各种类别的文章在文体使用上有各自的特征。

文体就是通过遣词造句等不同的语言表达方式给予读者不同的阅读感，在日语文章中，这种不同感觉的形成主要体现在词汇选择、句子表达方式选择、句尾形态选择3个方面。

# 1 非正式（インフォーマル）の口语体和正式（フォーマル）の口语体

日语的口语体和文章体区别非常明显。从文章写作的角度分析，日常生活中使用的非正式的口语体，主要用于关系密切的、不拘形式的、很随便的对话场合，其语言形式很难成为正式的文章语言。只有正式场合的口语体，比如，演讲、致词、汇报、谈判等场合时使用的口语体，才有可能成为文章语言。由于对非正式口语体和正式口语体的区别不很清楚，学生在写作时经常混淆，造成词汇使用的选择、词与词的搭配、句子表达方式的选择等文体上的不统一。比如，在学生写的用于正式场合的文章中，经常出现只用于很随便场合时使用的口语中的词汇和音变、约音形式，特别呈现出流行语、俗语、俚语、隐语等，使文章整体很不协调，给读者（或者听者）一种很不舒服的感觉。下面，归纳主要的几种现象以提起注意。

## A) 主要用于非正式口语体中的一些单词

- やばい
- あんまり
- ひどい
- やっぱし／やっぱり
- とっても
- なので
- すごい／すごく

## B) 句子层次上的音变形式和约音方式

| 話し言葉                 |              | 書き言葉                |
|----------------------|--------------|---------------------|
| インフォーマル              | フォーマル        | だ・である体              |
| 彼女なんだ／なんです。          | 彼女なのです。      | 彼女なのだ／彼女なのである。      |
| 問題じゃないです。            | 問題ではありません。   | 問題ではない。             |
| 書かなくちゃ／書かなくっちゃなりません。 | 書かなくてはなりません。 | 書かなくてはならない。         |
| 行かなくや／行かなくやならない。     | 行かなければなりません。 | 行かなければならない／行かねばならぬ。 |
| なくなっちゃった。            | なくなりました。     | なくなりました。            |
| 買った。                 | 買って置きました。    | 買って置いた。             |
| 分かってる。               | 分かっています。     | 分かっている。             |
| 必要だって言ってた。           | 必要だと言っていました。 | 必要だ／必要であると言っていた。    |
| 田中さんも行くんだって。         | 田中さんも行くそうです。 | 田中さんも行くという／行くそうだ。   |

## 2 不同用途、类别文章中的文体特点——措辞·造句·表达方式·句尾形态

文章涉及的内容非常广泛，用途多种多样，因此，其类别以及文章中的措辞·造句·表达方式·句尾形态的选择也很不一样。比如，文章内容有与日常生活工作密切相关的，也有介绍社会常识科学真理的，文章用途有为了与特定读者进行对话式交流的，也有主要为了向读者传达信息、传授知识的。下面，我们以“非常接近正式口语体的文章”与“典型的书面语文章”为典型例，先介绍各自的措辞·造句·表达方式的选择特点，然后，重点分析不同类别文章与“です·ます体”和“だ体/である体”句尾形态选择的相关性。

### 2.1 文体特点1=文章中不同类别单词的使用与不同阅读感的关系

话语和文章是由单词组成的，因此，不同读者、用途、内容以及不同场合的文章，其使用的单词也不同，给读者的阅读感不一样。日语文章中选择单词的最大特点是，单词有和语词、汉语词、外来语词以及混合词之分，不同类别词的选择使用，或者不同类别词在文章中所占的比例等，与文章的读者、用途、内容、场合密切相关，形成了不同的阅读感。

文章中大量使用和语词，会形成语气柔和、亲切易懂的阅读感。汉字以及汉字词比例越高，文章就变得学术味越重，虽言简意赅，但语气生硬。外来语或者以外来语为词干形成的混合语，伴随着流行、时髦、新颖等感觉，大量使用会使文章显得时代感强，有西方化或者国际化的新鲜感，而各种不同词汇组合成的混合语，则反映了日语表达方式的融会贯通和吸收新文化的便利性。下面，我们来阅读四篇文章，体会一下不同的阅读感。文章1和2都属于生活气息浓厚的口语体文章，和语词占主流；文章3是商业广告性文章，外来语或者混合语比例明显增加；文章4是学术性较强的法律知识介绍，汉语词和专业术语占比例很高。

#### 文章 1

##### 佐渡多真子のフォト・レッスン

##### 細部をよく見る

忙しい毎日、なかなか花や草木などの細部を見る余裕が持てないものですが、ふと足を止めて、草木の美しさやかわいらしさを感じられる時間は貴重です。同時にそれが写真を撮る楽しみでもあると思います。ゆっくり眺めてみると、雑草であっても、草花の容姿は幾何学的であったり、モダンアートのようにであったり、感動することがよくあります。まず、被写体をよく観察し、細部の特徴をつかみ、どこに焦点を当てるかをじっくり考えてみましょう。

##### 光を選びます

小さな草木も、光によってさまざまな表情の違いが出るようです。葉っぱや花びらが薄い植物は、やや逆光で撮ると光が後ろから透けてみずみずしい生命観が出てきます。落ち着いた色を出したい時は、日陰や曇りの日のしっとりした光で撮るといいでしょう。小雨でも、カメラやレンズが濡れないように気をつけて撮影すれば、水分を吸った生き生きとした草花の写真が撮れます。逆に、晴れの日の順光は草花の繊細な表情を撮るにはあまりおすすめではありません。

## 文章 2

## ペアのミニスカート

近所のボウリング場が主催するリーグ戦に友人と参加するようになって5年ほどたちました。二人ひと組のペアマッチなので、「おそろいのユニホームを作ろう」ということになり、生地を買いました。しかし、裁縫は小学校の家庭科レベルなので心配でした。

二人で生地を広げ、「ああでもない、こうでもない」と楽しい試行錯誤を繰り返しました。しかも、おいしいお茶とお菓子付きの一休みがまた楽しく、おしゃべりもついつい長くなってしまいます。

時間がかかりましたが何とかできあがり、先日、早速おそろいのミニスカートで試合に出てみました。「自分で縫ったの?」「かわいいね!」などと言われ、今、有頂天になっています。大した出来ではないけれど、できあがったことに感動しました。

## 文章 3

## メガネ男子・女子になろう

おしゃれに敏感な人たちにとって欠かせないアイテム、それはメガネ。

人の第一印象は目で決まるともよく言われるように、目は全身の「焦点」です。その焦点を飾るメガネをどう着こなすかが、おしゃれのポイントになります。視力のよしあしに関わらず、雰囲気の違いをメガネを使って、イメチェンしてみましょう。

あなたにピッタリのメガネとは、どのようなものでしょうか。一番大切なのは顔の形との相性です。いくら気に入ったメガネでも、自分の顔の形とマッチしなければ、残念ながらあなたの魅力は引き立ちません。

四角顔さんは、フレームの幅が狭くて丸みのあるフレームを選びましょう。丸顔さんは、上下の幅が狭く角張っているフレームが最適です。逆三角形さんは、メガネ全体の横幅が比較的広めで、丸みのあるフレームがよいでしょう。基本は、顔の形と違うフレームラインのメガネのほうがかっこよく見えます。また色の濃いメガネは小顔効果があって、おすすめです。

また、目の小さい方はメガネをかけると、目が大きく見えます。肌の白い方は、黒いフレームをかけるとよりいっそうファッションブルに見えます。このように、コンプレックスが長所が変わったり、もともとの長所をより魅力的に演出してくれるのが、メガネなのです。

また、メガネには大切な目を保護する役割もあります。たとえば、一日中PCに向かって作業しているPLたちは要注意! PCから放出される輻射が、目の周囲の水分を奪ってしまいます。メガネをかけていると、みずみずしい目元が保てます。またメガネには目の日焼けを防ぐ効果もあります。目の周りの皮膚は柔らかいため、特に意識してガードしないと、老化のスピードを速める可能性もあります。

## 文章 4

## 製造物責任 (PL) 法

PL責任とは、製品の欠陥が原因で、人身、その他の財産に損害が生じた場合、生産者はその賠償責任を負うというものです。一般の権利侵害責任と比べて、PL責任は無過失の厳格責任です。即ち、被害者は、製品に欠陥があり、その欠陥と損害により損害が生じたとする場合、欠陥と損害との間に因果関係があることが証明できれば、当該製品の製造メーカは下記各号に掲げる免責事由に該当する事情がない限り、過失の有無を問わず、損害賠償責任を負うこととされています。(1) 市場で製品がまだ販売されていない。(2) 製品の販売開始当時、損害を生じさせる原因となった欠陥が存在しない。(3) 製品の販売開始当時の科学技術水準では、欠陥の存在を発見することができない。このような場合に免責されないと新製品の開発意欲が削られるとの考慮から、免責事由として採用されています。

## コラム 1

## 和語・漢語・外来語・混合語

日本語がユニークな言語であると言われる理由の一つとして、まず単語の使用には和語、漢語、外来語、さらに混合語の存在があることがあげられよう。例えば、「ご飯」と「ライス」、「闘志」と「ファイト」、「昼ごはん、昼食、ランチ」、「学ぶ」や「習う」と「学習する」や「勉強する」、などのように、同じもの、同じことを指しながら、日本人は場面ごとにその微妙なニュアンスの違いを感じ取って使い分けている。文学作品においても、日本語のこのような特徴が十分に生かされている。たとえば、中国の若者にも広く読まれている吉本ばななの『キッチン』がそうである。

『キッチン』(1987年)は、たった一人の肉親である祖母の死から主人公の桜井みかげが立ち直っていく過程を描く小説だが、「台所」「厨房」「キッチン」の使い分けによって見事に主人公の心理変化を描き出している。「キッチン」というタイトルにもかかわらず、冒頭文「私がこの世でいちばん好きな場所は台所だと思う。」のように、ほとんどの場面で、祖母の存在を彷彿させるような、やわらかく暖かい、母性的意味合いの強い和語「台所」が使われている。しかし、主人公が祖母の死を実感した場面では、「厨房の音を聞き、白い湯気がのぼっている様子を見ている」と、専門用語的で冷たく硬く感じられる漢語「厨房」が使われる。そして、小説の最後で、ようやく立ち直り、明るくなった主人公が「夢のキッチン。私はいくつもいくつもそれをもつだろう。心の中で、あるいは実際に。」と笑っている。近代的、明るく、未来に開かれるような「キッチン」が使われることで、小説全体の雰囲気が決まる。

以上のように、日本語学習者にとって、日本語の和語、漢語、外来語の微妙な違いは常に意識しなければならない問題である。

## 2.2 文体特点2= “です・ます体文章” 和 “だ・である体文章” 的不同

“です・ます体文章”指文章中不包含“インフォーマル諸要素”的接近口语体的文章。“だ・である体文章”指使用场合庄重、学术性较强的书面语文章。两者在名词、动词、形容词、副词（包括程度副词、状态副词、拟声词和拟态词等）、助词、接续词等的使用上，以及在句子结构和表达方式上，都有很大的差别。下面，分别从选用不同词汇的表达方式和选用不同句子结构的表达方式的角度，举例子进行说明。

### A) 使用不同单词表达基本相同意思的例子

口语性较强的文章中，经常使用拟声词和拟态词。另外，相对来说，动词、形容词、名词、接续词等使用和语较多。

#### <話し言葉的な文章>

- 問題を見つける →
- 助け合いながら企画書を作る →
- 使い方を説明する →
- 間違った所に気づいた →
- 異なっている所を指摘した →
- だんだん分かってきた →
- はっきり言った →
- とてもよくできた →
- どんどん伸びている →
- ぱったりと倒れた →
- ぐっと引っ張る →
- ちゃんと説明する →
- 会議は東京で開かれる →
- 専門の本とか論文をいっぱい読んだ →
- だから、利用者が多い。 →
- でも／けれど、簡単ではない。 →

#### <書き言葉的な文章>

- 問題を発見する
- 協力して企画書を作成する
- 使用法を説明する
- 誤りに気づいた
- 相違点を指摘した
- 次第に（徐々に）理解できてきた
- 明確に言った
- 非常によくできた
- 急速に／勢いよく伸びている
- 急に倒れた
- 力強く／いきなり引っ張る
- よく／分かりやすく説明する
- 会議は東京において開催される
- 専門書や論文（など）を数多く読んだ。
- 従って、利用者が多い。
- しかし／だが、簡単ではない。

### B) 不同文章中体现出的造句、表达方式的文体特点

非常接近正式口语体的文章，除了大量使用日常生活中常用的口语词汇之外，还使用口语性很强的句子连接方式和表达方式。在学生的文章中经常出现3种现象：A)口语性的修饰成分表达方式；B)口语性的接续助词和语气词的使用；C)倒置句式。

#### <話し言葉的な文章>

- 大学院へ進んで、研究を続けたいです。 →
- 湿度が高くて、むし暑いです。 →
- 人に頼らないで、自分でやります。 →
- 相談しないで、決めました。 →
- 設備が整っていて、使いやすいです。 →
- インフルエンザで欠席した者は →  
5人だった。

#### <書き言葉的な文章>

- 大学院へ進み、研究を続けたい。
- 湿度が高く、むし暑い。
- 人に頼らず（に）自分でする。
- 相談せずに決めた。
- 設備が整っており、使いやすい。
- インフルエンザによる欠席者は5人だった。

- それによく気をつけてください。 → それに十分注意しなければならない／すべきである。
- 便利ですが、値段が高いです。 → 便利だが、値段が高い。
- 部長がだめって言ったら、 → 部長がだめだと言った以上、実行は不可能だ。  
絶対は無理です。

### 2.3 不同文章中体现出的句尾形态文体特点

现代日语文章中常用的句尾形态有两个，一个是主要用于“正式口语体”的“です・ます体”，一个是主要用于书面语的“だ体／である体”。句尾形态“です・ます体”表达礼貌语气，一般用于有特定读者或者团体、机构的文章中，作者是以与听众或者读者进行对话交流的方式进行写作。比如，信件、通知、情况介绍、说明书、宣传广告、商务信函、一般公文，以及讲演致词稿、意见陈述文等。

新闻报道、调查报告、科普读物、论文等，主要用于面向大众介绍客观事实、社会常识、规章制度、科学真理等，属于传授知识或者阐述道理的文章，一般不针对特定的读者或者团体，经常使用“だ体／である体”。其中，“だ体”经常用来表述作者个人的想法或者情感，“である体”则更多地用于表达公众的意见或者客观规律。

在日语教学中，一般以对外交流中最常用的“です・ます体”为导入，然后进入“だ体／である体”的学习。因此，我们用日语写作时，需要根据文章的用途和内容，选择使用不同的句尾形态文体。下面，先介绍一下不同句尾形态的变化方式和各自的功能，然后分析两篇例文，学习句尾形态文体的使用特点。

#### 1) 不同句尾形态的变化方式

“です・ます体”和“だ体／である体”的变化方式（见表1、表2）。

表1 “です・ます体”变化表

|      | 現在    |                       | 過去      |                            |
|------|-------|-----------------------|---------|----------------------------|
|      | 肯定    | 否定                    | 肯定      | 否定                         |
| 名詞   | 事実です  | 事実ではありません<br>事実ではないです | 事実でした   | 事実ではありませんでした<br>事実ではなかったです |
| ナ形容詞 | 複雑です  | 複雑ではありません<br>複雑ではないです | 複雑でした   | 複雑ではありませんでした<br>複雑ではなかったです |
| イ形容詞 | 大きいです | 大きくありません<br>大きくないです   | 大きかったです | 大きくありませんでした<br>大きくなかったです   |
| 動詞   | 使います  | 使いません                 | 使いました   | 使いませんでした<br>使わなかったです       |



表2 “だ体／である体”变化表

|      | 現在           |        | 過去              |          |
|------|--------------|--------|-----------------|----------|
|      | 肯定           | 否定     | 肯定              | 否定       |
| 名詞   | 事実である<br>事実だ | 事実ではない | 事実であった<br>事実だった | 事実ではなかった |
| ナ形容詞 | 複雑である<br>複雑だ | 複雑ではない | 複雑であった<br>複雑だった | 複雑ではなかった |
| イ形容詞 | 大きい          | 大きくない  | 大きかった           | 大きくなかった  |
| 動詞   | 使う           | 使わない   | 使った             | 使わなかった   |

观察上述的句尾形态变化表，需要指出两点：A) “です・ます体”中，名词否定、ナ形容词否定、イ形容词否定有两种形态，一般来说，使用“ます”形态的为多；B) “だ体”和“である体”在动词、形容词句时基本相同，区别主要在接续名词或者形式名词等。

### 2) “です・ます体” “だ体” “である体”的不同文体功能

文章有“对话交流式”和“传达信息式”之分，文章内容有个人情感和客观事实的区别，这些都体现在不同句尾形态文体的选择使用上（见表3）。我们应该了解不同文体的功能区别，根据不同类别的文章需要以及不同读者、用途、内容、陈述方式等，培养正确选择句尾形态文体的能力。

表3 不同句尾形态的文体功能

|          |   |
|----------|---|
| 「です・ます体」 | ①特定の人や組織に丁寧に話しかけるように書くとき<br>②特定の人や組織の存在を意識して書くとき<br>③読み手に自分の意見や判断を伝えたり、説明をしたり、質問や命令をしたりして、働きかけるとき |
| 「だ体」     | ①非常に親しい人に会話のように話しかけるように書くとき<br>②特定の人や組織の存在を意識せずに書くとき<br>③書き手の自問自答<br>④自分の意見や判断、主張を強く出すとき          |
| 「である体」   | ①不特定多数の読者を対象として書くとき<br>②客観的な事実を述べたり、論理関係や真実を解析したりするとき   |

## コラム 2

### 「です・ます体」と「だ体」の違い

使用不同文体会带来不同的表达效果，这在文章和对话中都一样。下面是公司社长和公司职员的一段对话，基调文体是社长使用“だ体”，职员使用“です・ます体”。但是，由于职员一直误解社长的好意，不正面地接受表扬，社长很生气，最后使用了“です・ます体”，通过使用不符合人际关系的客气语气形式，表达了对职员的不满情绪。

状況紹介：森嶋利子さんは、子供服専門店で働いている。市内のチェーン店が三つある。毎年三店舗でクリスマス商戦のディスプレイ・コンテストがある。優勝した店舗は忘年会で表彰され、金一封がもらえる。今年は森嶋さんの店で彼女はリーダーになり、ディスプレイの担当者になる。社長が巡回に来た。（ ）中は心理活動説明。